

5. イノベーション (改革)

* 沼津ソフトテニス教室	32
* ソフトテニスの日	34
* 小学生大会	35
* ジュニア審判講習会	36
* 競技者育成プログラム U-14ステップ1	37
* 事務所の設立	38
* 沼津ミックスソフトテニス大会	40
* 愛好者増加対策事業	41

沼津ソフトテニス教室

沼津ソフトテニス協会

昭和 46 年頃、菅沼孝行氏が、婦人を対象に毎週日曜日に香陵テニスコートにおいて教室を開催していました。その受講者の受け皿として、「沼津香陵テニスクラブ」（現沼津グリーンテニスクラブ）が東部で初の女性のクラブとして設立されました。

昭和 48 年 10 月市民体育館完成により、昭和 51 年 4 月より、当時理事長の土持玄了氏を中心に体育館で夜間（18 時 30 分から 20 時 30 分）に教室を行うようになりました。沼津市体育協会のスポーツ教室として、曜日も水曜日となりました。千本クラブの鈴木義勝氏、石井氏などが指導を行っていました。

教室の卒業生も増え、女性のクラブ「朝日テニスクラブ」などが誕生しました。

昭和 53 年には、当時の協会理事長の一杉常昭氏が中心となり、運営していましたが、昭和 57 年からは、石垣裕紀子（現：村中）氏に引き継がれました。

それまで、協会の行事としての位置づけはありませんでしたが、これを機に組織づくりを行ない各クラブから当番制で、補助員を出すようになりました。

また、一般の部の前の時間を利用し、17 時から 18 時 30 分に小学生の部を定員 15 名で設けました。本田稔氏が担当し、開催時刻の関係でシニアの協会員が補助につきました。

別紙の参加者推移表のとおり、当初は定員割れをしていましたが、平成 6 年度頃からは定員を超える応募が続いたため、平成 14 年からは定員を 20 名としています。

一方で、対象を婦人としていた一般の部は、著しい定員割れが続いたため、平成 9 年度から男女問わず中学生以上を対象としました。現在では、一般の部は中学生の応募が多く、小学生の部ともに、応募者多数で抽選となることが多くなっています。それだけ、ジュニアの指導の需要が高まっていることがわかります。

当協会においては、この需要に対応すべく、ジュニア育成部の専門部を立ち上げ、競技者育成の U-14 ステップ 1 やジュニア強化練習会、ジュニア審判講習会の開催などの活動に取り組んでおります。

さらに、婦人愛好者も取り戻そうと、月 1 回レディース練習会を開催しています。

現在、ソフトテニス教室は、NPO 法人となった沼津市体育協会の主催のスポーツ教室のひとつとして開催していますが、スポーツ教室は、各傘下団体がそれぞれで独自に運営しています。

当協会では、愛好者増加、ジュニア育成を目的とし、引き続きソフトテニス教室を開催していきます。

ソフトテニス教室参加者推移表

会計年度		一般の部	小学生の部	計	備 考
平成 3 年	平成 2 年度第 3 期	14	12	26	
	平成 3 年度第 1 期	16	8	24	
	平成 3 年度第 2 期	30	14	44	
	計	60	34	94	
平成 4 年	平成 3 年度第 3 期	13	11	24	
	平成 4 年度第 1 期	17	6	23	
	平成 4 年度第 2 期	20	5	25	
	計	50	22	72	
平成 5 年	平成 4 年度第 3 期	20	13	33	
	平成 5 年度第 1 期	20	7	27	
	平成 5 年度第 2 期	16	10	26	
	計	56	30	86	
平成 6 年	平成 5 年度第 3 期	19	15	34	
	平成 6 年度第 1 期	23	14	37	
	平成 6 年度第 2 期	27	15	42	
	計	69	44	113	
平成 7 年	平成 6 年度第 3 期	15	15	30	中学生追加 9名含む
	平成 7 年度第 1 期	16	15	31	
	平成 7 年度第 2 期	8	15	23	
	計	39	45	84	
平成 8 年	平成 7 年度第 3 期	17	15	32	中学生含む
	平成 8 年度第 1 期	6	15	21	
	平成 8 年度第 2 期	9	15	24	
	計	32	45	77	
平成 9 年	平成 8 年度第 3 期	22	15	37	中学生含む
	平成 9 年度第 1 期	18	15	33	中学生含む
	平成 9 年度第 2 期	19	15	34	中学生含む
	計	59	45	104	
平成 10 年	平成 9 年度第 3 期	29	15	44	中学生含む
	平成 10 年度第 1 期	14	15	29	中学生含む
	平成 10 年度第 2 期	14	14	28	中学生含む
	計	57	44	101	
平成 11 年	平成 10 年度第 3 期	19	14	33	中学生含む
	平成 11 年度第 1 期	29	15	44	中学生含む
	平成 11 年度第 2 期	30	15	45	中学生含む
	計	78	44	122	
平成 12 年	平成 11 年度第 3 期	30	15	45	中学生含む
	平成 12 年度第 1 期	36	15	51	中学生含む
	平成 12 年度第 2 期	25	15	40	中学生含む
	計	91	45	136	
平成 13 年	平成 12 年度第 3 期	30	15	45	中学生含む
	平成 13 年度第 1 期	29	16	45	中学生含む
	平成 14 年度第 2 期	25	20	45	中学生含む
	計	84	51	135	
平成 14 年	平成 13 年度第 3 期	30	19	49	中学生含む
	平成 14 年度第 1 期	20	20	40	中学生含む
	平成 14 年度第 2 期	25	20	45	中学生含む
	計	75	59	134	
平成 15 年	平成 14 年度第 3 期	23	20	43	中学生含む
	平成 15 年度第 1 期	22	19	41	中学生含む
	平成 15 年度第 2 期	9	20	29	中学生含む
	計	54	59	113	
平成 16 年	平成 15 年度第 3 期	10	20	30	
	平成 16 年度第 1 期	21	20	41	中学生含む
	平成 16 年度第 2 期	30	20	50	中学生含む
	計	61	60	121	

会計年度		一般の部	小学生の部	計	備 考
平成 17 年	平成 16 年度第 3 期	26	20	46	中学生含む
	平成 17 年度第 1 期	22	20	42	中学生含む
	平成 17 年度第 2 期	20	20	40	中学生含む
	計	68	60	128	
平成 18 年	平成 17 年度第 3 期	25	20	45	中学生含む
	平成 18 年度第 1 期	30	20	50	中学生含む
	平成 18 年度第 2 期	27	20	47	中学生含む
	計	82	60	142	
平成 19 年	平成 18 年度第 3 期	27	20	47	中学生含む
	平成 19 年度第 1 期	30	20	50	中学生含む
	平成 19 年度第 2 期	30	20	50	中学生含む
	計	87	60	147	
平成 20 年	平成 19 年度第 3 期	30	20	50	中学生含む
	平成 20 年度第 1 期	30	20	50	中学生含む
	平成 20 年度第 2 期	21	20	41	中学生含む
	計	81	60	141	
平成 21 年	平成 20 年度第 3 期	30	20	50	中学生含む
	平成 21 年度第 1 期	30	20	50	中学生含む
	平成 21 年度第 2 期	30	13	43	中学生含む
	計	90	53	143	
平成 22 年	平成 21 年度第 3 期	30	20	50	中学生含む
	平成 22 年度第 1 期	26	20	46	中学生含む
	平成 22 年度第 2 期	14	20	34	中学生含む
	計	70	60	130	
平成 23 年	平成 22 年度第 3 期	30	20	50	中学生含む
	平成 23 年度第 1 期	26	20	46	中学生含む
	平成 23 年度第 2 期	25	20	45	中学生含む
	計	81	60	141	
平成 24 年	平成 23 年度第 3 期	30	20	50	中学生含む
	平成 24 年度第 1 期	20	20	40	中学生含む
	平成 24 年度第 2 期	21	20	41	中学生含む
	計	71	60	131	
平成 25 年	平成 24 年度第 3 期	26	20	46	中学生含む
	平成 25 年度第 1 期	24	20	44	中学生含む
	平成 25 年度第 2 期	30	20	50	中学生含む
	計	80	60	140	
平成 26 年	平成 25 年度第 3 期	30	20	50	中学生含む
	平成 26 年度第 1 期	29	20	49	中学生含む
	平成 26 年度第 2 期	30	20	50	中学生含む
	計	89	60	149	
平成 27 年	平成 26 年度第 3 期	30	20	50	中学生含む
	平成 27 年度第 1 期	30	20	50	中学生含む
	平成 27 年度第 2 期	20	20	40	中学生含む
	計	80	60	140	
平成 28 年	平成 27 年度第 3 期	30	20	50	中学生含む
	平成 28 年度第 1 期	28	20	48	中学生含む
	平成 28 年度第 2 期	23	20	43	中学生含む
	計	81	60	141	
平成 29 年	平成 28 年度第 3 期	22	20	42	中学生含む
	平成 29 年度第 1 期			0	中学生含む
	平成 29 年度第 2 期			0	中学生含む
	計	22	20	42	

ソフトテニスの日

沼津ソフトテニス協会

ソフトテニスは、1884年に日本で生まれたスポーツです。

1990年に開催された「北京アジア大会」への参加を記念して、公益財団法人日本ソフトテニス連盟では9月23日を「ソフトテニスの日」に設定し、各地で多彩な行事が行われています。

当協会では、初心者から経験者まで、また、小さなお子様から大人まで楽しめるイベントを企画し、沼津市営愛鷹運動公園テニス6面を使用して行っています。参加は午前9時から午後4時までの間の随時とし、都合の良い時間帯に気軽に参加してもらうようにしています。

毎年、教室形式で初級、中級に分かれ練習会を行ない、昼休憩時間には、模範試合や、審判講習会、また、希望者が、講師に來ている実業団のプレー（カットサービス、早いファーストサービス、アタック等）に挑戦するなどを行なっています。

さらに、2016年度からは、参加料をいただき、お楽しみ抽選会を行っています。

運営には、補助員として、多くの協会員が参加し、協会員総出の行事となっています。

参加料をいただくようになったことで、沼津市広報で告知することができなくなり、周知の方法がこれからの課題となります。

協会ホームページの活用で、協会行事の広報は行っていますが、アクセス数がまだまだだと思っています。ホームページにも、ソフトテニスの日にも、ご家族で、フラッと遊びに來ていただきたいと思います。

2015年度のスナップ写真



初級コースの子供たち
一生懸命打ち返しました

ヨネックスの大相 朝加コーチ
が来てくれました



最後の記念撮影です

小学生大会

沼津ソフトテニス協会

第8代、石川雅之会長の時代に、原ジュニアが2003年、千本ジュニアと千本テニックスが2006年に立ち上がりました。それに伴い、沼津ソフトテニス協会の行事に小学生大会が加わりました。

沼津小学生選手権大会は、2006年度に第1回大会が開催されました。また、沼津小学生ソフトテニス研修大会は2011年度に第1回大会が開催されました。

ジュニアクラブの立上げ及び小学生大会の企画は、石川雅之氏、齋藤秀氏、山本連氏、佐野将人氏のご尽力の賜物です。ジュニアの育成は、中学・高校のレベルアップ、底辺の拡大に向けて、協会が行わなければならない最重点課題でした。

これからは、更に小学生のソフトテニス愛好者を増やし、新たな企画を立案し、発展させていかなければなりません。

第11回 沼津小学生選手権大会 (2016年度)



第6回 沼津小学生研修大会 (2016年度)



ジュニア審判講習会

沼津ソフトテニス協会

公益財団法人日本ソフトテニス連盟や静岡県連盟主催の大会の参加条件に審判資格が加えられたことにより、ジュニア（小学生、中学生）の大会参加者はジュニア審判資格を、高校生、一般の大会参加者は2級審判資格以上を取得することが必要となりました。

また、ベンチコーチに入る人の資質向上のため、2級審判以上の資格を求められています。ただし、中学校顧問においては、ジュニア審判講習会の受講により、ベンチに入ることが認められます。

2級審判は県連盟で、1級以上は日本連盟で資格取得や更新講習会を開催しますが、ジュニア審判講習会は協会が開催することになります。

当協会では、講師となりうる1級審判の資格を有する協会員が複数いるので、独自で計画し、開催することができます。

本来は、ソフトテニスの競技を始めたときに、ルールを理解するために、ジュニア審判講習会を受講すべきであり、ジュニアクラブや中学の部員には全員取得して欲しい審判資格ですが、費用や時期的な問題もあり、当協会では、必要に迫られた県大会出場が決まったタイミングで、審判資格がないジュニア及び顧問を救済するために、県小学生選手権前の4月下旬、県中学選手権前の5月中旬、ヨネックス杯県大会前の11月中旬に計画し、県大会出場者及び希望者を募って開催しています。

中には、試合経験も少なく、理解がなかなかできない受講者も見受けられます。

審判は経験を積むことにより、理解が深まり、自信を持つことができます。

資格取得のための講習会だけでなく、何度も繰り返し審判についての講習の機会を設け、協会全体の審判の資質の向上を図っていきます。



午前は、マニュアルの
解説とテストです

午後は、実技です



競技者育成プログラム U-14ステップ1

沼津ソフトテニス協会

競技者育成プログラムとは、競技者の発掘・育成・強化を行うことを目的としたプログラムです。（公益財団法人）日本ソフトテニス連盟が2004年に立案したもので、Step 1～5までのレベルがあります。

Step 1は地域（沼津市）、Step 2は都道府県（静岡県）、Step 3はブロック（東海ブロック）、Step 4は全日本、Step 5はNational Teamです。また、静岡県ではStep 1-2（東部、中部、西部地区）を設けてあります。

Step 1-2の選考会で、男女それぞれ20名ほどがStep-2に進みます。更に、県を代表する数名の選手はStep-3に進み、更に、そこから数名がStep 4に進みます。

東部のStep 1-2は、2008年度に第1回開催が計画されましたが、雨天中止となりました。実際に実施されたのは2009年度からです。

沼津ソフトテニス協会所属の選手がなかなかStep 2へ進むことができないこともあり、Step 1を2010年度から年間行事に組み込みました。当初は、Step 1-2への選考会ではなく、選抜強化練習会でしたが、最近では選考会も兼ねた行事となっています。

男女合わせて70名ほどの小中学生が集まります。練習メニューを作成し、メニューごとに解説をし、見本プレーを見せながら進めて行きます。そして、最後に選考委員が集合し、評価結果をすり合わせ、Step 1-2に推薦する選手を選考します。今年で、8回目を迎えますが、ジュニア育成の一つの行事として定着してきました。



解説を聞き入る
ジュニア



練習にも
熱が入ります。



選手選考
審議中

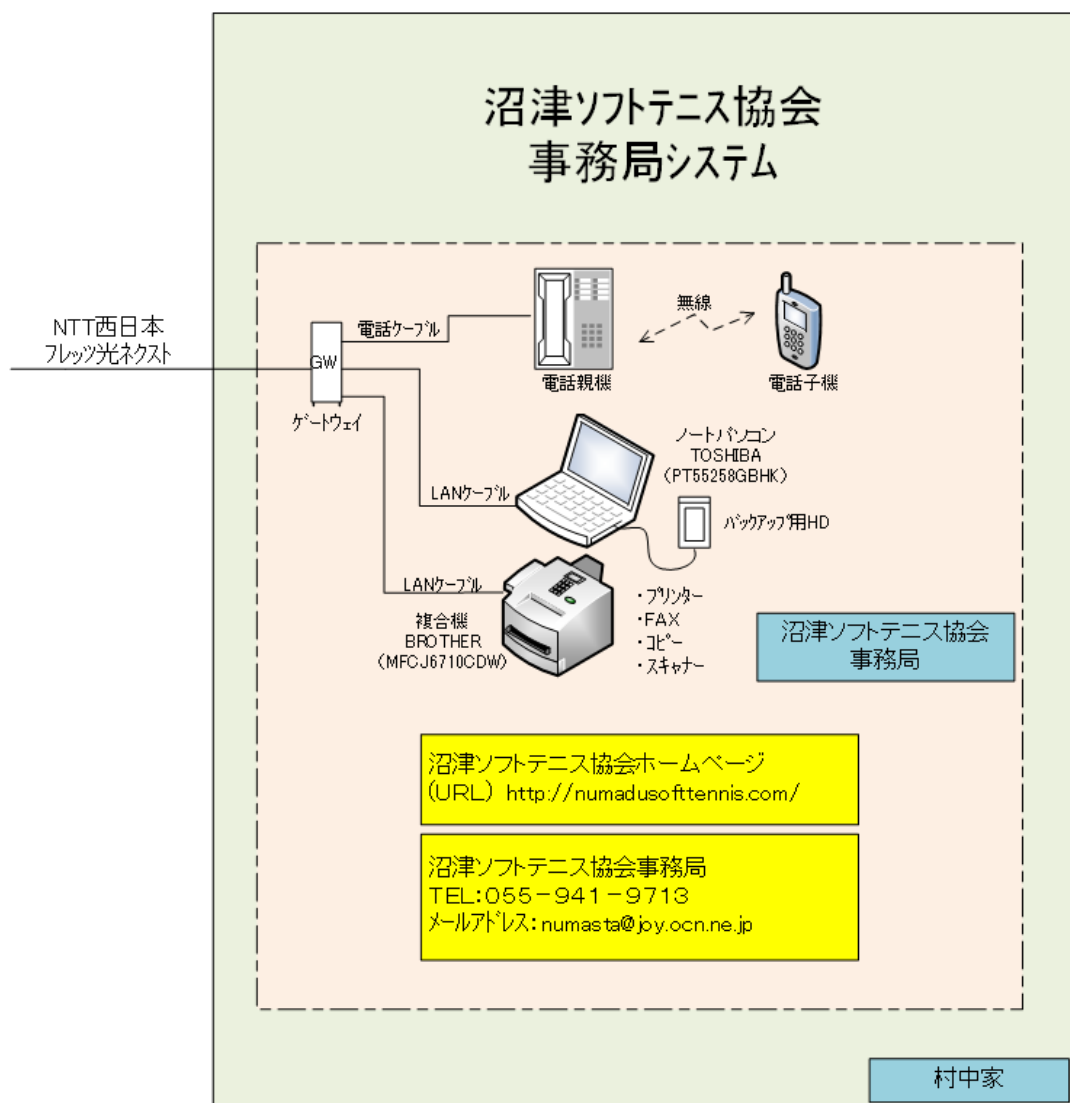
事務所の設立

沼津ソフトテニス協会

沼津ソフトテニス協会の様々な行事の中で最も力を注がなくてはならないことは、協会が主催する大会をスムーズに運営して行くことです。従来は、大会要項を作成して、関係クラブや近隣協会に封書で郵送していました。

また、大会プログラムやその結果、総会、常任理事会議事録及び県連や近隣協会からの情報等は総て、紙（用紙）で残され、段ボールに紙ファイルが詰め込まれた状態で、事務長に引き継がれてきました。

平成 13 年から村中が事務局を引き受けるにあたり、事務の効率化及びデータ保存のために、事務所の開設を提案しました。下図が事務所のシステムです。



事務所の設立によるメリット及び手掛けたアクションは次のとおりです。

- ① 個人の電話、パソコン及び複合機と完全に分離したので、費用の公私混同がなくなった。
- ② 大会要項、総会、常任理事会等の情報は、すべてメールで各クラブに送付することとしたため、事務処理の効率が大幅に向上した。
- ③ 総ての文章や記録は電子ファイル化したので、従来、結果を残していた段ボールが不要となった。その代りに、バックアップ用ハードディスクを用意した。
- ④ 複合機を設置したので、申し込みはFAXでも受け付け可能とした。
- ⑤ ホームページを立ち上げることが出来た。ニュース、大会結果のアップ、大会予定表、総会や常任理事会の資料及び議事録等、様々な情報を発信することが出来た。また、“ソフトテニスをやりたいが、クラブを紹介してほしい”等の問い合わせに対応できるようになった。
- ⑥ 過去の段ボールに残されていた、紙の資料は整理し、スキャナーで読み込ませPDFファイルに落とした。次の事務局長への引継ぎに段ボールはなくなった。
- ⑦ 大会結果には入賞者の写真も残すようにした。従来とは比べものにならない情報量を正確に残すことが出来るようになった。

メリットばかりではありません。デメリットもあります。

- ① フレッツ光ネクスト、ホームページアシスト等の費用が発生する。
- ② ホームページ管理には、多少、専門知識が必要となる。

持続可能な沼津ソフトテニス協会であるためには、“温故知新”の精神で、過去に色々な面で尽力してくださった方々の功績を温めながら、改革を進めてゆくことが大切だと思います。

沼津ソフトテニス協会70周年記念誌の編集にあたり、昔の文章や記録をあちこち探しましたが、昭和の時代のものは、ほとんど残されていませんでした。100周年記念誌を編集するときには、どんな情報でも即座に入手できるようにしたいと思います。

新企画 沼津ミックスソフトテニス大会

沼津ソフトテニス協会

通常の大会はテニスの上手な人が賞品を獲得し、同じ参加料でたくさん試合を楽しんで行きます。“参加した人が全員賞品または商品を持って帰り、しかも、和気あいあいとたくさん試合ができる大会が一つくらいあってもよいのでは”と企画したのが本大会です。また、静岡県全域から参加者を募り、参加選手の皆さんから“来てよかった、来年も来よう！”と言ってもらえるように様々な工夫を凝らしました。

年齢別で入賞者には賞品を用意するのは他の試合と同様ですが、それ以外に、はずれクジなしの抽選会を開催することにしました。

参加者全員に賞品または商品を用意するには、源資が必要です。そこで、日頃から付き合いの深いメーカーや企業から協賛をお願いすることにしました。協賛して頂いたら、大会プログラムに広告を載せ、ホームページにその紹介をし、協賛して頂いたメーカーや企業のホームページへリンクを張りました。

大会要項にも工夫を凝らしました。

ペアの一方が小学生、中学生、高校生の場合のエントリー可能な種別を以下のとおりとしました。

- ・小学生以下は、すべての部にエントリー可能
- ・中学生は、一般の部、40歳の部、50歳の部、60歳の部にエントリー可能
- ・高校生は、一般の部と40歳の部にエントリー可能

こうすることで、親子のペア、お孫さんとのペア、お爺さんと中学生のペア等、ユニークなペアが誕生し、和気あいあいと楽しんでもらえると考えました。

2013年度から開催し、今年で5回目を迎えようとしています。沼津ソフトテニス協会のビッグイベントになりつつあります。



お孫さんとのペア



中学生とお爺さん
みごと優勝

抽選会
一等賞あてるぞ！



抽選会賞品



愛好者増加対策事業

沼津ソフトテニス協会

公益財団法人日本ソフトテニス連盟において、2013 年度より「中学3年生引退後の練習環境を提供する計画の実施、また、レディースを含めた社会人を対象とした愛好者増加対策に補助をする」ことになり、県連盟では、東部、中部、西部それぞれで計画実施するよう指示がありました。

しかし、定期的に協会等を中心に行っている練習会という条件があり、東部連盟において、初年度に高校と中学3年生を結びつけ、希望する高校の練習に参加する形での練習会の計画を検討しましたが、公立高校においては、入学前に練習に参加させることは困難であるとのことから断念しました。県下でも、実施がなかなか進まないようでした。

当協会では、協会シニア女子合同練習会を月1回行っていたので、これをレディース練習会として対象を一般に拡大し実施していくことで条件を満たすので、東部連盟に了解を得て、2015 年度から、毎年、県連盟に申請して補助金をいただいています。

この実施にあたっては、2015 年度から、専門部にレディース部会を設置し、組織づくりをして、運営しています。

毎年、年間計画を掲載した要項を、協会ホームページに掲載し、広く募集を行い、実施していますが、20 人定員のところ、毎年、10 数名の参加にとどまっています。

今後は、要項にあるとおり、若い年代のソフトテニスを始めるきっかけとなるよう、さらに、個々への声掛けなど、工夫して広報していく必要があります。

募集要項

《ソフトテニス愛好者増加対策事業》

〇〇年度ソフトテニス練習会へのお誘い

沼津ソフトテニス協会長 村田吉昭

子育てが一段落して、また、ソフトテニスがしたくなったというあなた！孫が、子供が、ソフトテニスを始めたから私も始めようかなというあなた！協会員でなくても、月1回、気軽に参加できる練習会を行っています。ぜひ参加してください。

練習会は、指導員による教室方式となっています。

- 1、対 象 18歳以上の女性
- 2、持ち物 ラケット、テニスシューズ（会場が体育館の場合は、外履きと区別すること）
- 3、服 装 動きやすい運動着
- 4、練習日・会場（予定）

＊日程は2か月前に決定となります。（○は決定している月）

＊変更の場合は「沼津ソフトテニス協会ホームページ」でお知らせします。

＊年間スケジュールを掲載

月日・時間・場所（沼津市民体育館又は沼津市営大岡コート）

- 5、参加料 1回 300円（当日徴収）

- 6、申込み及び問い合わせ先

申込用紙に記入の上、沼津ソフトテニス協会あてに練習日の前日までにメール又はFAXしてください。（先着20名程度）1年まとめでの申し込みもできます。

ホームページにアクセスして「お問い合わせ」からメールできます。

電話、FAXの方は、沼津ソフトテニス協会事務局 TEL（FAX）055-941-9713